

機関相互 連携のためのテクニカルノート  
COVID-19 パンデミック中の子どもの保護:  
子どもと代替養育

*Key Approaches to Response*



Source: Save the Children

## 1. INTRODUCTION

この文書は、機関相互連携のために記した「[COVID-19 パンデミック中の子どもの保護：子どもと代替養育](#)」の付録として、子どもに継続的支援を提供するうえで 中心的役割を果たす、すべての関係者の協力と参加を促すために、有益な助言を記したものです。養育ケアセクターは、子ども、青少年、家族、政府、市民社会、寄付者など、幅広い関係者で構成されています。この文書では、以下の主な対応策について説明します

☐☐☐

- [子ども、家族、保護者、信仰指導者を含む地域社会の巻き込み](#)
- [セクター間および政府との連携](#)
- [寄付者との関わり](#)

## 1. 子ども、若者、家族、地域社会との協力

| 子どもと若者の関与 <sup>1</sup>   |  |
|--|--|
| 予防   | 対応   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● ウイルスに関する情報は、子どもが簡単にアクセスすることができて、理解することができる言葉と形式で書かれているべきであり、年齢に応じて適切に共有される必要があります。</li> <li>● 子どもや若者が、病気などによって分離されてしまうことについての政策の作成において、年齢に応じた形で参画するべきです。</li> <li>● 以下のことができるように、子どもたちは権限が与えられるべきです：             <ul style="list-style-type: none"> <li>● COVID-19 に対する不安と理解について、家族、信頼できる大人、ケースワーカーなどと話し合う。</li> <li>● 現在の生活状況についての心配事を話し合う。</li> <li>● 家庭訪問以外の連絡方法や直接訪問ができなくなった場合の対応について話し合う。</li> <li>● 地域でのリスクを特定し、彼らの視点から解決策を探る。</li> <li>● 家庭内や地域社会で支援をすることができる人やグループを特定し、助けが必要な時に連絡する方法を決めておく。</li> <li>● COVID-19 の感染を防ぐ方法について他の人を教育する。</li> <li>● 里親 または代替養育の提供者を選択するための基準を作成または確認する。</li> <li>● 自分と同じ地域社会におり、支援の必要性がある、他の脆弱な子どもたちを特定する。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもをフォローアップする仕組みを確立する(遠隔または適切な措置を講じる)</li> <li>● 隔離期間中に親が病気になったり、親が死亡した子どもに対応した、子どもに優しいケア方法を確立する。</li> <li>● 子どもとその家族が個別ケアの手配や代替養育の斡旋 など、彼らに影響する決定に参加することを支援する。</li> <li>● ヘルプラインや緊急ライン などの既存の体制に関する情報を仲間同士で共有する。</li> <li>● 危機の際に、子どもや若者がアクセスできる苦情申し立て制度への連絡方法を確立する。</li> <li>● オンラインプラットフォームを使用している子どもや若者と、オンラインの安全性とリスクについて議論する。すべての子どもと家族がインターネットにアクセスできると想定してはならない。</li> <li>● 子どもに奨励すべきこと(予防欄に加えて):             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 電話によって、または安全な距離を保てる方法で、地域のサポートに連絡する。</li> <li>● 自分や他の人の安全について心配な場合は、ケースワーカーに連絡する。</li> </ul> </li> </ul> |

<sup>1</sup> a) [Helping Children Cope with Coronavirus and Uncertainty](#)  
 b) [Talking to Children About COVID-19 \(Coronavirus\): A Parent Resource](#)  
 c) [How to speak to your child about the coronavirus](#)  
 d) [Relaxation Activities to Do at Home with Kids](#)  
 e) [Coronavirus and Kids: Resources from Save the Children](#)

|   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもや若者、特に最も脆弱な人々の声に耳を傾けるため、既存の地域の機能を強化する。</li> </ul> |  |
|---|--|

| 養育者の関与(里親及び親族里親を含む) <sup>2</sup>   |  |
|--|--|
| 予防   | 対応   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>養育者が訓練を受けるべきこと: <ul style="list-style-type: none"> <li>COVID-19 についての情報(適切な予防措置についてと、誤った情報/噂の排除 について)</li> <li>心理社会的支援の提供</li> <li>相談経路と利用可能なサービスの把握</li> <li>利用可能な地域でのサポート</li> <li>家族がウイルス感染の徴候を示した場合の対応</li> </ul> </li> <li>通常は通所支援を受けている、障害を持つ子どもの養育者は、自宅でこれらの支援を提供する方法と子どもが持っているかもしれない追加のニーズについて訓練を受けるべきである。</li> <li>より多くの子どもが代替養育を必要とする場合は、地域において追加の養育者を発掘し、訓練する必要がある。</li> <li>子育てや家族の力を強化する サポートプログラムの実施のために、養育者と遠隔コミュニケーションや連絡をとる方法の選択肢を検討する。</li> <li>養育者は 支援を受けて、以下の権限 を持つ機会が与えられる必要がある: <ul style="list-style-type: none"> <li>病気になった時に育児の手助けを誰に頼むのかを一緒に考える。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て、家族の強化、支援へのアクセスに関して、養育者に可能な限り遠隔支援を提供する。</li> <li>訪問を必要としているリスクの高い養育者/家族を特定し、訪問中の スタッフ や家族へのリスクを最小限に抑えるための対策を取る(外での面会、手洗い、適切な距離の維持など)。</li> <li>養育者が病気(入院または死亡前)だと報告された時点から、子どもたちのために必要なケア及び/または代替養育の継続性を確保するための対応策を決めておく必要がある。</li> <li>代替養育の緊急措置は、一時的なケアを必要とする子どもを受け入れ るために、すぐに 利用できるようにしておかなければならない。すべての養育者と支援提供者は、検疫の実施について、また、子どもが症状を示した場合に何をすべきかについて、訓練を受けておく必要がある。</li> <li>養育者は以下の機能を持つ必要がある: <ul style="list-style-type: none"> <li>児童相談所に連絡して懸念/課題を報告する。</li> <li>地域の機関に連絡する。</li> <li>地域社会の他の養育者に遠隔サポートを提供する。</li> </ul> </li> </ul> |

<sup>2</sup> a) [Parent/Caregiver Guide to Helping Families Cope With the Coronavirus Disease 2019 \(COVID-19\)](#)  
b) [Helping children cope with stress during the 2019-nCoV outbreak](#)  
c) [Resources for Supporting Children's Emotional Well-being during the COVID-19 Pandemic](#)  
d) [Stress, Resilience, and the Role of Science: Responding to the Coronavirus Pandemic](#)

|  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもの世話ができなくなった場合、子どもの世話をすることができる、その他の家族や地域社会の人を決める。食事やパーソナルケアに関する特定のニーズを持つ障害児の養育を含む。</li> </ul> <p>家族に隔離の必要がある場合に、基本的なニーズ(食料/水/薬)の提供を助けることができる家族および/または地域の人を特定する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもに心理社会的支援を提供する。</li> </ul> |
|--|---|

| 信仰指導者を含むコミュニティリーダーの関与 <sup>3</sup>   |  |
|--|--|
| 予防   | 対応   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の指導者に対し、COVID-19 が子どもたちに与える影響(特に障害を持つ子どもや慢性疾患を持つ子ども)と、症状、感染経路を含む基本的な事実について訓練し、子どもを特定、照会して回復した子どもや回復者の子どもを脅かす誤った情報を除去できるようにする。</li> <li>● 地域の指導者が以下の事ができるように支える: <ul style="list-style-type: none"> <li>● 社会的距離を保った上で、地域でメッセージを広める最善の方法を決定する(すなわちラジオ/メガホン/オンライン)</li> <li>● 地域で親族里親または里親になってくれそうな人を探す。</li> <li>● メッセージを発信することで支援の源となり、地域の人々が安全対策に則って行動し、感染防止に努めることを奨励する。</li> <li>● 社会の結束を奨励する: COVID-19 の発信源として非難されている移民などに対する差別など地域で生じた排他的傾向と闘う。</li> </ul> </li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の指導者が以下の事ができるように支える: <ul style="list-style-type: none"> <li>● COVID-19 と回復者に対する汚名や噂と闘う。</li> <li>● 難民や移民を対象とした汚名や排他主義と闘う。</li> <li>● 地域社会の最も脆弱な子どもたち(障害や慢性疾患を含む)や家族を対象とする、安全な援助を提供する。</li> <li>● 子どもに対する懸念やリスクがあれば児童相談所に通告する。</li> <li>● 既存の通告経路にかかる影響を理解する:</li> </ul> </li> </ul> |

<sup>3</sup> a) [Global Multi-Religious Faith-in-Action Covid-19 Initiative](#)

b) [Considerations and recommendations for religious leaders and faith-based communities in the context of COVID-19](#)

c) [COVID-19: How to include marginalized and vulnerable people in risk communication and community engagement](#)

## 2. 機関間および政府との協力(社会的養育制度改革への影響を含む)

緊急時に代替養育や分離の危険にさらされている子どもの権利を保護するには、さまざまな機関と政府省庁/部門間の協力が必要です。この場合、セクター間の協働と調整が最も重要です。これには、衛生、教育、社会保護、社会福祉、コミュニケーション、法執行や、緊急事態管理の機関などが含まれますが、これらに限定されない場合があります。教育、健康情報、その他の支援が主に家庭を介して子どもに提供されるため、施設養育など、社会的養育下の子どもたちは、特に見落とされる危険性があります。緊急対策 部門/省庁も同様に、社会的養育の子どもたちが経験する制限や制約の影響を認識しにくいかもしれません。

鍵となる優先すべきアクションには、次のようなものがあります：

- **社会福祉・社会保護：** 調整と通告に関する体制は、リスクの高い家族や子どもが識別され、適切な児童保護、社会福祉、社会保護サービスや支援につながることを確実にするために、地元レベルで実行され合理化されるべきです。これには、児童保護、社会福祉/保護、最前線の医療従事者、法執行機関など、さまざまな部門間のコミュニケーションやトレーニング、調整が必要となる場合があります。特に、子どもと接触する可能性のある最前線のワーカーが、緊急時に増加する可能性のある、子どもに対する暴力(VAC)及び/または家庭内暴力(DV)の指標を認識し、特定できるようになることに関して特別に配慮が必要です。
- **健康：** 地域の病院や診療所などの省庁/部門と協力して、代替医療の子どもたちの健康ニーズ(既存の疾患及び COVID-19 感染の両方)の優先順位が下がらないようにし、医療へ アクセスする際の障壁となるものを特定し、積極的に対処します。これには、有償のケアシステムを受けている子どもが 既存の無料医療へ 優先/自動的にアクセスできるための閣僚レベルでの合意確保と、新しい保健体制(すなわち、オンライン医療相談やテスト/診療所を通じた運用)の開発の際に、 社会養育を受ける 子どもに対する支援提供を考慮に入れることを保証する必要があります。
- **メンタルヘルス：** 特に心的外傷後ストレス障害(PTSD)のリスクが増加する状況では、**代替的養育の中にあたり、家族への 統合や自立生活への移行過程に**いる 子どもたちに対する、遠隔または対面によるメンタルヘルスや心理社会的支援(MHPSS)の強化を保証する必要があります。
- **教育：** **学校が閉鎖された時に、**アドボカシーと、省庁/教育省、および地元の学校との協力を通して、通所支援 を含む代替養育を受ける 子どもたち への代わりとなる教育手段(遠隔及び/またはオンライン)が、アクセス可能であることを保証します。これは、障害を持つ子どものための十分なデバイス、インターネット、教育などのリソースと 適切な学習リソースへのアクセスの確保を考慮する必要があります<sup>4</sup>。

---

<sup>4</sup> [INEE Key Education Resources in the Context of COVID-19](#)

- **地域のタスクフォース：** 学校、児童保護機関、少年司法当局、社会・保健サービス、ファミリーアソシエーション等を含むその他機関で組織することができます。タスクフォースは適切に認定されるべきであり、また、有能なスタッフによる救済、子どもや施設の定期的な監視と、子どもの安全と保護に対する違反が発生した際に発動されるアラートシステムを提供することによって、必要に応じて報告し、直ちに介入する能力を持つべきです。
- **文書/情報管理：** 保健施設、検疫所または隔離のためのトランジットセンター/代替宿泊施設で子どもが分離される場合や、そこに付き添う大人についての文書管理システムは、セクターや機関の間で整備され、標準化されるべきです。これは、特に養育者が治療を要する時に、分離が起こったり、起こりうる可能性がある時に、迅速にこの追跡や再統合を確実に行うために必要な事項です。
- **遠隔サポート：** 代替養育者とソーシャルワーカーに対して、MHPSSを含む遠隔学習と支援サークルを確立し、彼らが連携を維持し、経験を共有し、互いから学び合い、高め合うことができるようにします。
- **モニタリング：** 地域、地方及び中央政府は、子どものスーパービジョンと状態の記録が、国際、地域、国家のデータプロテクションプロトコルの枠組みの中で共有され、促進され、保護されることを保証すべきです。

### 3. 寄付者との連携

寄付者は、遠くに取り残された子どもたちの高まるリスクが、この危機によって悪化し、定着しないように、一貫した対応を確保する上で重要な役割を果たさなければなりません。

SARS、MERS、エボラ出血熱、HIV/エイズの大流行の際の対応から学んだ教訓を活かし、子どもたちが即時かつ長期的な影響を持つ同様の過ちの被害者にならないように、迅速に対応する必要があります。この予防のために、今すぐ実用的な対策を講じることができます。

寄付者に関係する組織は、寄付者がケアと保護に関して緊急時の適切な対応についての認識を向上できるように積極的に情報交換を行い、COVID-19 対応の過程で子どものケアとケアシステムの強化に不適切で有害な資金募集を未然に防ぐべきです。

寄付者への主なメッセージは以下のものを含む:

- **予防** 危険にさらされている家族が人道的および開発的な介入の対象にされることによって、親や養育者からの子どもの不必要な分離を予防します。現在のケア改革の取り組みと、親が養育していない子どもに関する国連総会決議(2019)<sup>5</sup>にそって、児童福祉施設(孤児院、児童養護施設等)がパンデミックへの対応においてプログラム化して用いられないことを保障します。
- **保護** 危険にさらされている家族や施設の子どもの、より頻繁、安全な遠隔地からのモニタリング、衛生施設、心理社会的支援を通じて保護します。対人支援に従事する人々のための、保護具を含む社会福祉従事者の健康と保護に対する継続的な投資と優先を確保します。
- **守る** 既存の開発援助局(ODA)のケア改革へのコミットメントを擁護し、生命を脅かす可能性のある後退を防ぐための児童保護システム(CPSS)を強化します。COVID-19 危機に体系的に取り組むために、ODA の変更決定を保証することは、CPSS の措置を含むとともに、最も脆弱な家族や地域社会に社会的セーフティネットを提供することになります。各国が、施設内の子どもを含むすべての人の公衆衛生をモニターし、保護する能力を確保していることを確認します。
- **変更** 既存の財政的支援と助成金を変更して、政府や市民社会が柔軟性と資金を備え、増加する(児童虐待)対応ケースを予防し、緊急対応します。例えば、資金の制限を廃し、前払いします。
- **シェア** このガイダンスをすべての現場チームと共有して、代替養育を受けている子どもとリスクのある家庭の子どもへの支援がWASHや教育プログラムなどのCOVID-19への全般的な対応に一本化されるよう指示します。

民間の寄付者はまた、子どもの最善の利益に則った行動を起こすために、危機に対する適切で安全な対応を選択するための支援を受けるべきです。

---

<sup>5</sup> [UN General Assembly Resolution on the Rights of the Child \(2019\)](#)

- 民間の寄付者は、既存プログラムへの資金提供を維持し、緊急時に不可欠な対応をするために提供する資金の柔軟性を高め、緊急事態の期間中は支援に対する要求が増す可能性を認識しておくべきです。
- 資金が不適切に用いられるのを防ぐために、緊急事態において現れる新たな施設養育の一時停止について世界的な基準を十分理解すべきです。
- 民間の寄付者は、この緊急事態において支援の効力を拡大するために、家族の分離防止や家族を基盤とする支援に資金を再分配するためのサポートを受けるべきです。
- この間、施設や寄宿学校などが閉鎖された場合、家庭に戻った子どもをモニターし、支援するための経費が必要であることを民間の寄付者は認識しておき、そのために継続的な資金が必要であることを知っておくべきです。そのために新規または修正された資金調達契約を締結することができます。